

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和 元年 9月 6日

公表: 令和 元年 9月25日

事業所名 ひまわりきつず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		動き回る部屋と勉強の部屋を分けている	
	2	職員の配置数は適切である	○			スタッフの勤務年数が長くなるように、コミュニケーションを図っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		建物の契約としてスロープが作れないので、今後の検討課題としていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		30分くらいの短時間でもミーティングをする	気兼ねなく話し合いのできる環境を作っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者同士のコミュニケーションの場が少ないようなので、活動の発表をする場を作るように検討します
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は受けていません。今後、第三者にお願いしていきたいと思います。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達支援コーチをうけている	ほっとびあさんの研修等も時間が許す限り受ける方向です。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			児発管同士で検討をして作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		自社のものをりようしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日の活動を考え実行に移しています。	2ヶ月くらい前から考えてもらい、実行していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お出かけや調理実習など偏らないようにしている	月2回の音楽療法をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動の内容に変化を持たせる	長期休暇でないとは出来ない作品などをつくる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別では宿題や苦手としている部分を伸ばす支援。集団活動として、部屋に集まって、一緒に動いたりしています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		担当と活動はボードを使っています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日の担当・活動をつくります。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳へ記入しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリング後の計画見直しには児発管同士で話し合いをして決めています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			必要に応じた活動を組み合わせています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当の児発管が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		週間・月間の予定表を頂き、送迎等の予定を組んでいます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		担当者会議の形で参加して、支援内容の確認をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業まじかに担当者会議をして、現況の情報を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		ほっとぴあ主催の研修に参加	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		児童クラブ等との連携が少ないので、検討していきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加しています	
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を通して支援内容や活動の様子を伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○			3ヶ月に1回くらいの割合で親御様との関係性を築くことができるように努力中です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にしています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連携を取るために、訪問をして、親御様とお話をしていますが、すべてに行き届いていないので、増やしていきたいです。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母会もしくは発表会のような場を作り、親御様同士の関わりやつながりが多くなるようにしていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月会報を配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			常に注意するように周知徹底する
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		移転して間もないため、今後、イベント等を考えていく予定です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者の皆様へもわかりやすく周知して行きたいとおもいます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難場所の確認、時間等を図り訓練をしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			障害福祉課の研修を受け、事業所へ持ち帰り報告
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			利用児にはいませんが、マニュアルの作成があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		書面にて記入していただいています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットのファイルがあります。	事故防止につながるようミーティングを継続していきま